



吉川市で2番目に開設された放課後等デイサービス 「はなみずき学園吉川校」を訪問し、施設長の今村信一さんにお話を伺いました。(2017年11月9日)



そこは高久第2公園の近くにある2階建ての一軒家。数段の階段を上り玄関を開けると迎えて下さったのは満面の笑みの施設長今村さん。伺った午後4時は、スタッフに連れられて学校から子どもたちが帰ってくる時間で、子どもたちはこぞって今村さんに嬉しそうに話しかけていました。

ストレスを取り除く場として

印象的だったのは子供たちの笑顔と言葉遣いの丁寧さ。それはスタッフの皆さんも同じでした。学校でのストレスを解消し、リラックスさせて家に送り届けるための場所と時間であるという今村さんの信念のもとスタッフは一丸となっているのだそうです。

- ・とにかく褒めて自信を付けさせる。
- ・視線は子供と同じかそれより下に置く。
- ・子どもの行動からその心の根底を読む。

なるほど、そうしたポリシーは障害があってもなくても子育てでは大事なことであらためて感じました。



その日1階では、テーブルに着き宿題をする子、バランスボールにずっと乗っている子など7人ほどが思い思いに過ごしていました。カラオケも人気で、声を出すことは自分を解放するうえでも大切なことだとも話されました。

2階は基本的に事務スペースですが、1階の様子がモニターできるようになっていて、ゆっくり休むスペースも確保され、その日も一人休んでいました。

はなみずき学園吉川校の生い立ちと今

「はなみずき学園」は草加市に2ヶ所あり、それに続く3ヶ所目。草加校で受け入れていた三郷市や八潮市の子供たちの送迎の為に、中川の東側にも開設しようと探したところ、自然もあり、明るく広い庭付きのこの家が見つかったのだそうです。大家さんの福祉への理解が深く近隣の皆様にも温かく見守られていることに感謝の言葉を何度も繰り返されました。

現在登録は、高校生3人、中学生3人、小学生7人。車4便で送迎し、スタッフは常時4、5人居るそうです。

障がい児特別支援学校と支援学級の子供が約半分ずつで、吉川市には支援学校はない為、吉川市内の学校からは中曽根小学校の児童が1人だけとのことでした。吉川市は比較的核家族が少ないためか、利用する子供は少ないそうです。せっかく吉川市にある施設なので、知らなくて利用できない子どもが





いたら残念だと感じました。

小学生で入所し、高校生まで通して利用する家庭が殆どで、複数の施設に通うより、心が安定するメリットが大きいとのことでした。

施設長今村さんは…



「はなみずき学園」の母体は、特定非営利活動法人「ハナミズキ介護サービス」。今村さんはそこで老人介護を通して命と向かい合い、一期一会の大切さを感じてきたと言います。その思いを基本に子供たちに向き合い、明日への希望を持たせることを目指し、スタッフもその思いについてきてくれていると語って下さいました。

「前職は営業マンだから“接客”は得意！」と話す今村さんは子供を笑顔にするプロなのだと思いました。

5時近くなると部屋の照明が暗くなり音楽が鳴ると、子どもたちは「コバトンよさこい」を踊りだしました。自然にお帰りモードに入ります。踊り終わると、今村さんと話したくて「今村さん、今村さん！」と寄ってくる子どもたちと、「お客様だからね。また明日も来てね！」と答える今村さんとでほんわかムード。子供たちは笑顔で帰っていきました。



相談支援専門員の資格も持つ今村さんは、卒業後の子どもたちの相談支援員としてこれからもずっと関わって行きたいとのことでした。

身体的な障害を持った子どもも、玄関前の数段の階段があるため受け入れ出来ていないとのこと、
「はなみずき学園吉川校」で過ごせるのは恵まれた子どもたちだなと感じました。それと同時に、大人になっても生きがいを持って生きていける社会の仕組み作りがとても大切で、まだまだ課題が多いとも考えさせられました。(M.I)

NPO 放課後等デイサービス はなみずき学園吉川校
埼玉県吉川市高久 1-31-13
TEL 048-954-7797

